

各アクションプランの事業評価と実施状況

【評価の仕方】	a	特に成果が高い。
	b	H26年度事業計画を概ね達成している。
	c	H26年度事業計画が達成できなかった。未着手であった。

＜施策展開の方向Ⅱ 社会性を備えた豊かな心をはぐくむ＞

基本施策 具体施策	事業番号	アクションプラン	担当所管	H26年度事業計画	H26年度事業実績（見込）	自己評価						H27年度（最終年度）事業計画	備考 ・自己評価が【a】や【c】になった理由、その対応 ・自己評価が上がった理由 ・事業が完了・統合等、大きな変化があった理由	
						21	22	23	24	25	26			
(3) 9 各種体験学習の 推進	(26)	農山村留学の実施	指導課	県外実施については、長野県実施のほか、茨城県等での実施もスタートさせ、事業の充実を図る。また、県内実施についてもより多くの学校がホームステイを体験できるよう、継続して事業の改善に努める。	県外実施については、今年度より茨城県実施をスタートさせ、事業の充実を図った。（長野県実施19校1,070人、茨城県実施2校198人）また、県内は92校7,605人が実施し、さらに昨年度より9校上回る27校2,013人がホームステイを体験した。	b	a	b	b	b	b	茨城県2校、県内110校で実施予定。それぞれの地域の特性を生かした体験活動や学校間交流を行い、さらなる内容面の充実を図っていく。	バス代の高騰に加え、平成27年度から国の補助金がつかなくなることから、長野県での農山村留学は平成26年度を持って終了。	
	(27)	移動教室の実施	指導課	市内の全小学5年生が、千葉市少年自然の家で2泊3日の集団宿泊体験を実施し、自然の家及び周辺の豊かな自然の中で様々な体験活動や仲間作りの活動を行いながら、相手を思いやる心や社会性を育む。	流行性疾患・荒天による延期はあったものの、113校全ての小学校、8,375人で実施することができた。千葉市少年自然の家及び周辺の豊かな自然の中で様々な体験活動や仲間作りの活動を行いながら、相手を思いやる心や社会性を育むことができた。	b	a	b	b	b	b	市内の全小学5年生が、千葉市少年自然の家で2泊3日の集団宿泊体験を実施し、自然の家及び周辺の豊かな自然の中で様々な体験活動や仲間作りの活動を行いながら、相手を思いやる心や社会性を育む。		
	(28)	少年自然の家の運営	健全育成課	教育的施設として、また青少年育成の拠点として、学校・家族・青少年団体等の利用者の実施する教育活動、生活体験・自然体験・共同宿泊体験等が、安全にかつ効率よく実践できるよう、プログラム・宿泊・食事・地域連携等の業務を行う。また、千葉市の教育施策及び青少年の健全育成に対応したプログラム開発や、千葉市と密接に連携したプログラムを開発し実施する。	自然の家には、クライミングウォール施設のあるプレイホール、里山風景を復元したふるさと田んぼ、周辺の自然を学習できる自然環境学習センターなどが整備されており、これらを活用して、現代的な教育課題や健全育成活動等が積極的に実施された。また、自然の家のプログラムである野外炊飯やハイキングなどの野外活動や自然観察、創作活動や人間関係作りプログラムなど、様々な体験プログラムにおいても積極的に活用された。	b	b	b	b	b	b	教育的施設として、また青少年育成の拠点として、学校・家族・青少年団体等の利用者の実施する教育活動、生活体験・自然体験・共同宿泊体験等が、安全にかつ効率よく実践できるよう、プログラム・宿泊・食事・地域連携等の業務を行う。また、千葉市の教育施策及び青少年の健全育成に対応したプログラム開発や、千葉市と密接に連携したプログラムを開発し実施する。		
	(29)	自然教室の実施	保健体育課	中学2年生（全中学校56校）を対象に「高原千葉村キャンプ場・青少年自然の家」で3泊4日の自然教室を実施する事業をさらに充実させ、子どもの健康づくりを推進する予定である。	中学2年生（市内全中学校56校）を対象に、「高原千葉村キャンプ場・青少年自然の家」で3泊4日の自然教室推進事業を実施した。アドベンチャーラー等新しいプログラムを加え、豊かな自然の中で様々な体験学習を、安全に留意しながら実施するとともに、規律ある集団生活を通して心身ともに調和の取れた健全な生徒の育成を図った。	b	b	b	b	b	b	b	中学2年生（全中学校55校）を対象に「高原千葉村キャンプ場・青少年自然の家」で3泊4日の自然教室をさらに充実させ、主体的に計画し行動する態度を育む。	
	(31-1)	ボランティア教育の推進	指導課	アクションプラン（91）「学校・家庭・地域連携によるまちづくりの推進」に整理統合する。	アクションプラン（91）「学校・家庭・地域連携によるまちづくりの推進」に整理統合した。	b	b	b	b	b	b	-	-	
	(31-2)	子ども議会	指導課	市政だより等で募集した小・特別支援学校の児童が、市の現状や課題を知り、市役所職員との学習会を通して提案・質問内容をまとめる。子ども議会で、テーマ別グループごとに市政への提案・質問を行い、市長及び関係職員より提案・質問内容についての答弁を得る。その成果は、子ども議会報告書や指導課ホームページに掲載する。	市政だより等で募集した小学生が、ファシリテータ役の中学生と一緒に市の現状や課題を知り、市役所職員との学習会を通して提案・質問内容をまとめた。7月29日開催、小学5・6年生55人、中学生12人が参加。参加した子どもたちは、7つのグループに分かれ、グループごとに市政への提案・質問を行い、市長及び関係職員より提案・質問内容についての答弁を得た。その成果は、子ども議会報告書や指導課ホームページに掲載した。	-	b	b	b	b	b	b	市政だより等で募集した小・特別支援学校の児童が、ファシリテータ役の中学生と一緒に市の現状や課題を知り、市役所職員との学習会を通して提案・質問内容をまとめる。子ども議会で、テーマ別グループごとに市政への提案・質問を行い、市長及び関係職員より提案・質問内容についての答弁を得る。その成果は、子ども議会報告書や指導課ホームページに掲載する。	
(3) 10 道徳教育の充実	(32)	人権教育の推進	指導課	25年度同様、研究協議会や管理職研修を通して、人権意識の醸成を図る。	研究協議会や管理職研修を通して、人権意識の醸成を図った。	b	b	b	b	b	b	b	26年度同様、研究協議会や管理職研修を通して、人権意識の醸成を図る。	
	(34)	道徳教育用教材の作成	指導課	中学校（第2学年）用の道徳教育用教材を作成し、各校に40冊ずつ配布予定である。	中学校（第2学年）用の道徳教育用教材を作成し、各校に40冊ずつ配布した。	b	b	b	b	b	b	b	中学校（第3学年）用の道徳教育用教材を作成し、各校に40冊ずつ配布する。	
(3) 11 環境教育の推進	(35)	環境教育教材の作成	環境保全課・指導課	【環境保全課】小中学生を対象として教材の配布を行うほか、学校への指導・助言を通して、環境学習の充実を図る。作成部数については、児童生徒数に合わせて場合によっては各10,000部より減少させる。 【指導課】環境学習モデル校の活動や、総合的な学習の時間の主任会等を通して、環境教育教材の活用を推進し、千葉市の環境教育の質的向上を図る。また、25年度版に修正を加え教材の質的向上を目指す。	【環境保全課】小中学生を対象として教材の配布を行い、環境学習の充実を図った。関係各課と協議し、より活用しやすい資料構成とした。作成部数については、児童生徒数に合わせて各9,500部とした。 【指導課】環境学習モデル校の活動や、総合的な学習の時間の主任会等を通して、環境教育教材の活用を推進し、千葉市の環境教育の質的向上を図った。また、25年度版に修正を加え教材の質的向上を図った。	b	b	b	b	b	b	b	【環境保全課】小中学生を対象として教材の配布を行い、環境学習の充実を図る。関係各課と協議し、より活用しやすい資料構成とする。作成部数については、児童生徒数に合わせて各9,500部から調整する。 【指導課】環境学習モデル校の活動や、総合的な学習の時間の主任会等を通して、環境教育教材の活用を推進し、千葉市の環境教育の質的向上を図る。また、26年度版に修正を加え教材の質的向上を目指す。	
	(36)	環境学習モデル校の指定	環境保全課・指導課	千葉市環境学習モデル校指定事業実施要綱に基づき、小学校、中学校それぞれ6校を環境学習モデル校に指定する。それぞれの学校は、活動計画書を作成し、活動を行い、平成27年2月頃に発表する。また、各校の活動を活動実践集としてまとめ、全小・中学校に配布する。環境に関する児童生徒の理解を深め、意識の向上と環境問題の解決のための能力を育成する。	小学校、中学校それぞれ6校を環境学習モデル校に指定した。各校は、活動計画書を作成し、活動を行い、平成27年2月に発表した。また、各校の活動を活動実践集としてまとめ、全小・中学校に配布した。環境に関する児童生徒の理解を深め、意識の向上と環境問題の解決のための能力の育成を図った。 〈平成26年度モデル指定校〉 小学校：院内、弁大、幕張、幕張南、真砂第5、真砂東 中学校：葛城、花園、都賀、加曾利、千城台西、菅田	b	b	b	b	b	b	b	千葉市環境学習モデル校指定事業実施要綱に基づき、小学校、中学校それぞれ6校を環境学習モデル校に指定する。それぞれの学校は、活動計画書を作成し、活動を行い、平成28年2月頃に発表する。また、各校の活動を活動実践集としてまとめ、全小・中学校に配布する。環境に関する児童生徒の理解を深め、意識の向上と環境問題の解決のための能力を育成する。	

基本施策 具体施策	事業番号	アクションプラン	担当所管	H26年度事業計画	H26年度事業実績（見込）	自己評価						H27年度（最終年度）事業計画	備考 ・自己評価が【a】や【c】になった理由、その対応 ・自己評価が上がった理由 ・事業が完了・統合等、大きな変化があった理由	
						21	22	23	24	25	26			
	(37)	ごみ分別スクールの推進	廃棄物対策課・指導課	市内全小学校の4年生に対し、「ごみ分別スクール」を実施し、適切なごみ処理の方法についての学習を行うとともに、社会科や総合的な学習の時間における学習や活動にも生かす。	市内全小学校114校（市立小学校113校＋千葉大附属小）4年生に対し、「ごみ分別スクール」を実施し、適切なごみ処理の方法についての学習を行うとともに、社会科や総合的な学習の時間における学習や活動にも生かす。	b	b	b	b	b	b	市内全小学校113校（市立小学校112校＋千葉大附属小）の4年生に対し、「ごみ分別スクール」を実施し、適切なごみ処理の方法についての学習を行うとともに、社会科や総合的な学習の時間における学習や活動にも生かす。		
(3) 12 いじめ等問題行動への対応	(38)	不登校やいじめに関する教育相談の実施	指導課・教育センター	【指導課】不登校やいじめなど教育全般にわたる悩みを持つ児童生徒や保護者などの相談の充実を図る。 また、毎月の長欠児童生徒の状況を把握するとともに、長欠担当教育相談員が学校を訪問し、学校復帰に向けた対応について指導・助言等を行う。 【教育センター】幼児・小学生・中学生・高校生年齢の青少年とその保護者及び教職員を対象とした電話相談・来所相談・家庭訪問相談を実施する。なお、センターの相談業務の内容について、学校現場や各相談機関へ広報し、さらに活用度を高める。 また、家庭訪問相談員が2人増員されることにより、待機件数を減らし、より多くのケースへの対応を実施する。	【指導課】不登校やいじめなど教育全般にわたる悩みを持つ児童生徒や保護者などの相談の充実を図った。 また、毎月の長欠児童生徒の状況を把握するとともに、長欠担当教育相談員が学校を訪問し、学校復帰に向けた対応について指導・助言等を行った。 【教育センター】幼児・小学生・中学生・高校生年齢の青少年とその保護者及び教職員を対象とした電話相談・来所相談・家庭訪問相談を実施した。平成26年度実績は、電話相談4,046件、来所相談784件、家庭訪問相談員派遣78件であった。	b	b	b	b	b	b	【指導課】不登校やいじめなど教育全般にわたる悩みを持つ児童生徒や保護者などの相談の充実を図る。 また、毎月の長欠児童生徒の状況を把握するとともに、長欠担当教育相談員が学校を訪問し、学校復帰に向けた対応について指導・助言等を行う。教育センター等の教育機関との連携を強め、「真砂墓スクール」内の教育相談指導教室の円滑な運営を図ったり、不登校解消に向けた調査研究を行ったりする。 【教育センター】幼児・小学生・中学生・高校生年齢の青少年とその保護者及び教職員を対象とした電話相談・来所相談・家庭訪問相談を実施する。なお、センターの相談業務の内容について、学校現場や各相談機関へ広報し、さらに活用度を高める。		
	(39)	スクールカウンセラーの配置	指導課	市内全中学校の配置を継続する。また、行政区単位で、小学校配置を継続する。	市内全中学校の配置を継続した。また、行政区単位で、小学校配置を継続した。	a	b	b	b	b	b	市内全中学校の配置を継続する。小学校については、巡回方式を取り入れるとともに、学区中学校からの派遣も継続して行う。		
	(40)	スクールソーシャルワーカーの活用調査事業	指導課	行政区単位で、配置を継続する。	行政区を基本とし、配置を継続した。	b	c	c	b	b	b	b	2人増員した4人体制になり、行政区によらず、要請に応じて派遣を継続して行う。	
	(41)	ネット上のいじめへの対応	教育センター・指導課・青少年サポートセンター	【教育センター】各種研修会をとおして、発達段階に応じた情報モラル教育の重要性について周知し、各学校の実態に応じた情報モラル教育の推進に努める。 【指導課】研修を継続すると共に関係機関との連携を図り、問題解決を図れるようにする。 【青少年サポートセンター】小・中学校・高校の生徒指導担当者や学校警察連絡委員会の小・中学校長を対象に県警サイバー犯罪対策室や財団法人インターネット協会等から講師を招聘して講演活動や研修を実施する。	【教育センター】各種研修会をとおして、発達段階に応じた情報モラル教育の重要性について周知し、各学校の実態に応じた情報モラル教育の推進に努めた。 【指導課】研修を継続すると共に関係機関との連携を図り、問題解決を図れるようにした。 【青少年サポートセンター】学校警察連絡委員会東署委員会や西署委員会、北署委員会において、インターネットや携帯による犯罪やトラブルの研修（123校参加）を実施した。	b	b	b	b	b	b	【教育センター】各種研修会をとおして、発達段階に応じた情報モラル教育の重要性について周知し、各学校の実態に応じた情報モラル教育の推進に努める。 【指導課】研修を継続すると共に関係機関との連携を図り、問題解決を図れるようにする。 【青少年サポートセンター】小・中・高等学校の生徒指導担当者や学校警察連絡委員会の小・中学校長を対象に県警サイバー犯罪対策室や財団法人インターネット協会等から講師を招聘し、研修会を実施する。		
(4) 13 将来の生き方を学ぶキャリア教育の推進	(42)	小中学校におけるキャリア教育の推進	指導課	教育活動全体を通じ、児童生徒一人一人の勤労観・職業観を育てるキャリア教育を推進する。「キャリア教育推進会議」を設置し、小学校のキャリア教育の実践例の紹介、中学校の職場体験・社会体験の実施状況等、キャリア教育の推進に向けての提言をする。 進路学習ノート「わたしの夢（中1、2）」、進路学習資料「進路選択の手引き（中3）」を生徒・担当教師に配付する。保護者啓発資料「子供と共に考える進路」を指導課HPで配信する。	教育活動全体を通じ、児童生徒一人一人の勤労観・職業観を育てるキャリア教育を推進する。「キャリア教育推進会議」を設置し、小学校のキャリア教育の実践例の紹介、中学校の職場体験・社会体験の実施状況等、キャリア教育の推進に向けての提言を行った。 進路学習ノート「わたしの夢（中1、2）」、進路学習資料「進路選択の手引き（中3）」を作成し、生徒・担当教師に配付した。保護者啓発資料「子供と共に考える進路」を修正し、指導課HPで配信した。	b	b	b	b	b	b	教育活動全体を通じ、児童生徒一人一人の勤労観・職業観を育てるキャリア教育を推進する。「キャリア教育推進会議」を設置し、小学校のキャリア教育の実践例の紹介、中学校の職場体験・社会体験の実施状況等、キャリア教育の推進に向けての提言をする。 進路学習ノート「わたしの夢（中1、2）」、進路学習資料「進路選択の手引き（中3）」を改訂し、生徒・担当教師に配付する。保護者啓発資料「子供と共に考える進路」を改訂し、指導課HPで配信する。進路指導主事研修会を通して、将来の生き方を考える進路指導を推進する。		
	(43)	高等学校におけるキャリア教育の推進	市立千葉高校・市立稲毛高校	【市立千葉】インターンシップに参加する生徒数を増やし、充実を図る。卒業生の話や聴く会、社会人による講演会等により、キャリア教育を推進する。 【市立稲毛】前年度に引き続き、模擬授業や大学訪問を実施予定である。	【市立千葉】インターンシップでは、昨年度より参加人数が増加し成果を上げた。卒業生や社会人による講演等により、充実したキャリア教育ができた。 【市立稲毛】7・8月に1年生は、大学のオープンキャンパスに参加した。7月に2年生がネット上での大学模擬授業を視聴し、進路決定に向けての動機づけとした。	b	b	b	b	b	b	【市立千葉】インターンシップの周知を徹底し、参加者数を増加させる。生徒のニーズに合わせたキャリア教育講演会や卒業生の話や聴く会を企画することにより、キャリア教育を推進する。 【市立稲毛】前年度に引き続き、大学のオープンキャンパスへの参加や大学模擬授業を視聴する他、卒業生の話や聴く会の開催を予定している。		
(4) 14 郷土の歴史と文化等を学ぶ機会の充実	(44)	地域教材の作成と活用	指導課	小・中ともに補助教材を部分改訂し、継続して配布する。	小学校3・4年生が、千葉市の概要や市民の生活を支えるために働く人々について学習できるよう補助教材「わたしたちの千葉市」「すずむ千葉県」を配布、中学校生徒が主体的に地域学習に取り組めるよう補助教材「伸びゆく千葉市」を作成し、配付した。	b	b	b	b	b	b	小・中ともに補助教材を部分改訂し、継続して配布する。		
	(45)	埋蔵文化財を活用した出前授業	埋蔵文化財調査センター	勾玉づくり、火起こし、実物に触れる体験や、地域の歴史や文化財に関する講座を出前授業として実施して学ぶ機会を提供する。	勾玉づくり、火起こし、実物に触れる体験や、地域の歴史や文化財に関する講座を出前授業として実施して学ぶ機会を提供した。 ・参加した児童・生徒数（延べ数）：6,111人	b	b	b	b	c	b	勾玉づくり、火起こし、実物に触れる体験や、地域の歴史や文化財に関する講座を出前授業として実施して学ぶ機会を提供する。		
	(47)	千葉市の農業の配布と活用	農業経営支援課・指導課	農業経営支援課が作成する「千葉市の農業」（電子版）を各小学校に周知、有効活用し、千葉市の農業の現状や農家の人たちの工夫等について、理解を深める。	農業経営支援課が作成する「千葉市の農業」（電子版）の有効活用を推進し、千葉市の農業の現状や農家の人たちの工夫等について、理解を深めた。	b	b	b	b	b	b	農業経営支援課が作成する「千葉市の農業」（電子版）の有効活用を推進し、千葉市の農業の現状や農家の人たちの工夫等について、理解を深める。		
	(48)	ふれあいパスポートの発行配布	企画課	前年度に引き続き、ふれあいパスポートを配布し、市内の社会教育施設やスポーツ施設等を無料又は割引価格で利用できるようにし、子どもたちの学校外活動と夢づくりの支援を図る。	市内の社会教育施設、スポーツ施設等を対象とするふれあいパスポートを、市内在住・在学の児童生徒に配布するとともに、ホームページや新たに各学校掲示ポスターを作成し広く周知に努めた。 平成27年度版の作成にあたっては、新たに1施設を対象に加え15施設とし、施設拡充を図った。	b	b	b	b	b	b	前年度に引き続き、ふれあいパスポートを配布し、市内の社会教育施設やスポーツ施設等を無料又は割引価格で利用できるようにし、子どもたちの学校外活動と夢づくりの支援を図る。		

基本施策 具体施策	事業番号	アクションプラン	担当所管	H26年度事業計画	H26年度事業実績（見込）	自己評価						H27年度（最終年度）事業計画	備考 ・自己評価が【a】や【c】になった理由、その対応 ・自己評価が上がった理由 ・事業が完了・統合等、大きな変化があった理由
						21	22	23	24	25	26		
(4) 15 国際人を育てる 国際理解教育の 推進 48 国際交流の促進	(49)	小学校英語活動の推進	指導課	国際交流都市を目指す千葉市において、21世紀を担う子どもたちに豊かな国際感覚を身に付けさせ、コミュニケーション能力の素地を養うことを目的に、外国語活動の時間等において、外国人講師を配置し、外国の文化や生活体験にふれたり、国際共通語である英語に慣れ親しむことのできる体験的な活動を行う。	5・6年生の外国語活動の時間において、外国人講師を配置し、外国の文化や生活体験にふれたり、国際共通語である英語に慣れ親しむことのできる体験的な活動を行った。	a	b	a	a	b	b	5・6年生の外国語活動の時間において、外国人講師を配置し、外国の文化や生活体験にふれたり、国際共通語である英語に慣れ親しむことのできる体験的な活動を行う。	
	(50)	外国語指導助手等の配置	指導課	学習指導要領に示された外国語科の目標を達成するために、業務委託により外国人講師を配置し、協同授業の実施により、生徒のコミュニケーション能力の向上と国際理解教育の推進を図る。	学習指導要領に示された外国語科の目標を達成するために、業務委託により市内全中・高等学校に外国人講師を配置し、協同授業の実施により、生徒のコミュニケーション能力の向上と国際理解教育の推進を図った。	b	b	b	b	b	b	学習指導要領に示された外国語科の目標を達成するために、業務委託により市内全中・高等学校に外国人講師を配置し、協同授業の実施により、生徒のコミュニケーション能力の向上と国際理解教育の推進を図る。	
	(51)	中高一貫教育校における英語教育の展開	市立稲毛高校・附属中学校	前年度に引き続き、ネイティブスピーカーの授業を行っている。	中高一貫教育目標である「真の国際人の育成」のため、ネイティブスピーカー（外国人講師）による授業を行った。	b	b	b	b	b	b	前年度に引き続き、ネイティブスピーカーによる授業を行い、コミュニケーション能力の育成を図って行く。	
	(169)	姉妹友好都市との交流	指導課	小中20校程度の海外の同等校と、児童生徒の作品や手紙等の交換を行うことで、相互の文化について理解を深める。	小中28校の海外の同等校などと、児童生徒の作品や手紙等の交換を行うことで、相互の文化について理解を深めた。	c	b	a	b	b	b	小中28校の海外の同等校などと、児童生徒の作品や手紙等の交換を行うことで、相互の文化について理解を深める。	
	(170)	インターナショナルスクールとの連携	指導課	幕張インターナショナルスクールとの交流活動等を希望する小・中学校に対し情報提供を行う。	国際理解・帰国児童生徒教育研究推進協議会全体会で国内外の学校間交流を紹介したり、呼びかける活動をしたが、幕張インターナショナルスクールと交流を希望する小・中学校はなかった。	b	b	b	c	c	c	幕張インターナショナルスクールとの交流活動等を希望する小・中学校に対し情報提供を行う。	原因の一つとして、近隣地区からの入学者が多いため、近隣小学校との交流が難しいことが上げられる。さらに幕張インターナショナルスクールの情報を収集し、その魅力をPRしていきたい。
(5) 16 読書活動の充実 と読書習慣の定着	(52)	学校図書館指導員による読書活動の充実	指導課	全中学校及び統合校・大規模校等の小学校13校に専任として週4日、その他の小学校及び特別支援学校には週2日ずつ、学校図書館指導員を配置する。児童生徒の豊かな読書活動を推進し、読み聞かせや適切な図書を紹介、図書館の環境整備等の取組を行う。	全中学校及び統合校・大規模校等の小学校13校に専任として週4日、その他の小学校及び特別支援学校には週2日ずつ、学校図書館指導員を配置した。児童生徒の豊かな読書活動を推進し、読み聞かせや適切な図書の紹介、図書館の環境整備等の取組を行った。	a	a	b	b	b	b	全中学校及び統合校・大規模校等の小学校16校に専任として週4日、その他の小学校及び特別支援学校には週2日ずつ、学校図書館指導員を配置する。児童生徒の豊かな読書活動を推進し、読み聞かせや適切な図書の紹介、図書館の環境整備等の取組を行う。	
	(53)	学校図書館図書の充実	指導課	「千葉市小・中・特別支援学校図書館資料除籍基準」に則った適切な廃棄と、購入とのバランスを考慮しながら、蔵書の充実に努める。基本図書（図鑑・辞典類）、研究参考図書（調べ学習に対応できる図書）、新学習指導要領の円滑な実施のために必要とされる図書等を中心に計画的に購入し、蔵書の充実に努める。	「千葉市小・中・特別支援学校図書館資料除籍基準」に則った適切な廃棄と、購入とのバランスを考慮しながら、蔵書の充実に努めた。基本図書（図鑑・辞典類）、研究参考図書（調べ学習に対応できる図書）、学習指導要領の円滑な実施のために必要とされる図書等を中心に計画的に購入し、蔵書の充実に努めた。	b	a	b	b	b	b	基本図書（図鑑・辞典類）、研究参考図書（調べ学習に対応できる図書）、学習指導要領の円滑な実施のために必要とされる図書等を中心に計画的に購入し、図書資料の質を充実させるとともに、蔵書数の拡大を図る。	
	(54)	朝読書の推進	指導課	読書の習慣化、豊かな心の育成、確かな学力の向上を図るために、朝読書を推進する。	読書の習慣化、豊かな心の育成、確かな学力の向上を図るために、朝読書を推進した。朝読書の実施率は、中学校98.2%、小学校98.2%であった。	b	b	b	b	b	b	読書の習慣化、豊かな心の育成、確かな学力の向上を図るために、朝読書を推進する。	
(5) 17 図書館との関係 推進	(55)	図書館図書の団体貸出の推進	中央図書館	調べ学習や朝読書等に必要資料、教科書に出てくる本の収集・提供を図る。その際、教員や学校図書館指導員と連携を図って選書に役立てる。小学生向けのセット貸出資料を準備する。資料見学会や利用法のPRに力を入れる。	小学生向けの図鑑のセットや教科書に出てくる本の充実を図った。夏休休業中、教職員に対し、団体貸出資料見学会を実施し、参加者には併せて図書館内の見学案内も発行し、団体貸出利用や図書館利用の促進を図った。	a	b	b	b	a	b	調べ学習や朝読書等に必要資料、教科書に出てくる本の収集・提供を図る。その際、教員や学校図書館指導員と連携を図って選書に役立てる。資料見学会や利用法PRに力を入れる。	
	(56)	図書館見学・職場体験やおはなし会の実施	中央図書館	小学生に対しては図書館施設見学やおはなし会を、中学生に対しては職場体験を実施する。職員が学校に出向いて行うおはなし会や、図書館利用法等の出張授業も実施していく。	小学生に対しては図書館施設見学やおはなし会を、中学生に対しては職場体験を実施した。要望に応じ、見学に際して、希望の教科書単元に関連した本棚を紹介し、図書館利用への関心を高めた。要請のあった中学校に、来館で、図書館の利用法について説明を行った。職場体験実績：54校（138人）	a	b	b	b	b	b	小学生に対しては図書館施設見学やおはなし会を、中学生に対しては職場体験を実施する。要望に応じて、職員が学校に出向いて行うおはなし会や、図書館利用法等の出張授業も実施していく。引き続き中学生の職場体験の受入れを行う。	
	(57)	子ども読書まつりの実施	中央図書館	秋の読書週間に合わせて10月中旬から11月中旬に、中央図書館・地区図書館・分館で「子ども読書まつり」を実施する。	10月中旬から11月中旬にかけて、中央図書館・地区図書館6館・分館6館の計13館で実施した。中央図書館では10月25日（土）に生涯学習センターとの共催で実施。市内小・中・特別支援学校及び高等学校や地域団体と連携を図り、市民ボランティア等の協力も得て実施した。全館合計 94イベント 参加者数 9,372人	a	a	b	a	b	b	秋の読書週間に合わせて、10月中旬から11月中旬に、中央図書館・地区図書館・分館で「子ども読書まつり」を実施する。	
(5) 18 芸術文化等に親 しむ活動の充実	(58)	小・中学校音楽鑑賞教室等の開催	指導課	①「小・中学生のためのオーケストラコンサート」を、千葉市民会館で2日間実施予定である。 ②「未来への夢を育む音楽芸術体験事業」を市内中学校で26回開催する。鑑賞に加えて体験教室を実施。内容は、邦楽、オーケストラ、能楽、声楽アンサンブル。	①「小・中学生のためのオーケストラコンサート」を、千葉市民会館で2日間実施した。2日間の鑑賞者数は約4,750人 ②「未来への夢を育む音楽芸術体験事業」を市内中学校で26回開催した。鑑賞に加えて体験教室を実施。内容は、邦楽、オーケストラ、能楽、声楽アンサンブル。体験生徒数は6,860人	b	b	b	b	b	b	①「小・中学生のためのオーケストラコンサート」を、11月に文化交流プラザで2日間実施する。 ②「未来への夢を育む音楽芸術体験事業」を市内中学校で26回開催する予定。鑑賞に加えて体験教室を実施。内容は、邦楽、オーケストラ、能楽、声楽アンサンブル。	

基本施策 具体施策	事業番号	アクションプラン	担当所管	H26年度事業計画	H26年度事業実績（見込）	自己評価						H27年度（最終年度）事業計画	備考 ・自己評価が【a】や【c】になった理由、その対応 ・自己評価が上がった理由 ・事業が完了・統合等、大きな変化があった理由
						21	22	23	24	25	26		
(5) 18 芸術文化等に親しむ活動の充実	(59)	本物の舞台芸術の体験	文化財課	「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」を実施する。	「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」を以下のとおり実施した。 オーケストラ 小学校：1校、中学校：1校 合唱 小学校：1校、中学校：1校 児童劇 小学校：1校 音楽劇 小学校：1校 演劇 小学校：2校、中学校：1校 バレエ 小学校：1校 邦楽 小学校：1校	b	b	b	b	b	b	「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」を実施する。	
	(60)	文化芸術に親しむ場の提供	文化振興課	①「ふれあい音楽クリニック・コンサート」として、中・高校生吹奏楽選抜者（約40人）を対象に、全3回のクリニックとコンサートを実施する予定である。 ②「ちばサンドアート2014」として、市内小中学生及び保護者を対象に砂像作成の体験教室と作品展示を実施する予定である。	①「ふれあい音楽クリニック」を全3回実施し、中・高校生の吹奏楽選抜者計35人が参加した。また「ふれあい音楽コンサート」を10月4日に実施した。②「ちばサンドアート2014」として、市内小中学生及び保護者を対象に砂像作成の体験教室と作品展示を9月13日に実施し、85人の参加があった。	-	-	b	b	b	b	①「ふれあい音楽クリニック・コンサート」として、中・高校生吹奏楽選抜者（約40人）を対象に、全3回のクリニックとコンサートを実施する予定である。 ②「ちばサンドアート2015」として、市内小中学生及び保護者を対象に砂像作成の体験教室と作品展示を実施する予定である。	
	(63)	美術館での鑑賞教育の推進	文化振興課	市立小・中・特別支援学校20校を対象に実施 参加予定者数 約1,200人 自主的な来校（徒歩）にも対応	市立小・中・特別支援学校22校を対象に実施 参加者数 1,285人 自主的な来校（徒歩）にも対応	b	b	b	b	b	b	市立小・中・特別支援学校20校を対象に実施 参加予定者数 約1,200人 自主的な来校（徒歩）にも対応	